

市民助け合いネット

仲間通信

【第31号】

発行

NPO法人

市民助け合いネット

代表 片岡 興一

〒270-0121 流山市若葉台3-131

☎ 04-7153-5733

平成27年9月末現在

私たちの仲間

総数 1,079名

内訳

利用会員 654名

提供会員 425名

平成二七年度・上半期の活動報告

平成二七年度・上半期の「助け合い活動」「ふれあい活動」および「行政からの受託事業」の活動と主なトピックスについて報告します。

助け合い活動

まず「助け合い活動」

については左表のとおり、四月～九月の半年間で総件数二千八百三件と昨年に比一〇%増と年々増加傾向にあります。依頼内容別では、車による外出支援が約千四百件と、全体の五〇%を占めています。外出支援要請に比べていくために有償運転者の増員と若返りを図るべく、積極的に有資格者を増や

ふれあい活動

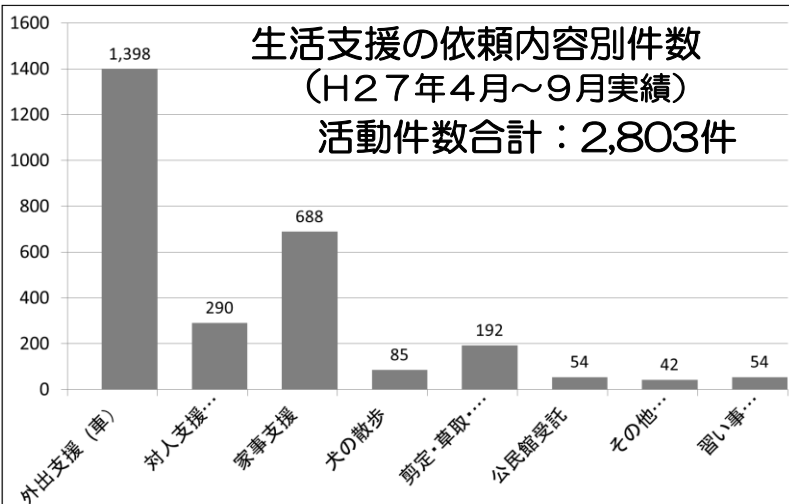
昨年七月にオープンした「ふれあいの家「えがお」」の利用者が、この九月末で四七八二人になりました。

最近では、毎月三五〇人を超える利用があり、利用された方の「大変、良い居場所を作ってくれて、ありがとう」の言葉

し、増加する要請にこたえて行けるよう体制強化を図っています。

をいただくほどになりました。

また「えがお」運営にあたり、各種イベント出演に無償で協力していただいている音楽演奏、健康体操、落語・演芸などのグループの皆さんには、心より感謝申し上げます。近隣の自治会、公民館にはチラシで、また当会のホームページで毎月の催し物を案内しています。皆さんのお越しをお待ち申し上げます。



「えがお」の催し物の一例



車による外出支援の点数の見直しのお知らせ

福祉有償運送は、当会として平成一八年三月に許可を受けて以来、今年で一〇年目に入りました。この間、この活動に賛同し、有償運送運転者として資格取得、登録いただいた提供会員は、延べ一三〇名を数え、現在、四四名の方が、活動に従事してくれています。当会の高齢者の生活支援活動の中で、車による外出支援は、生活支援全体の依頼件数の五〇%を占め、増加の一途をたどっています。また、最近では、市外、特に都内の病院を中心に、送迎依頼が増えてきています。それに伴い、運転者の時間拘束や負担が増えている状況にあります。

当会は、これまで送迎における待ち時間は、無料としていたが、最近の傾向を鑑み、市外への送迎の待ち時間について下表の通り、加算(点数)させていたいただくことにいたしました。

また、合わせて流山市内および周辺地域への送迎について、市内・市外扱いの適用区分を見直しましたので、ご承知願います。

適用区域	現行	改定後
国立ガンセンター	市内扱い	市外扱い
初石病院	市内扱い	市外扱い
おおたかの森病院	市内扱い	市内扱い
距離加算・市内	全域 10点	5km 超えた時は 13点
待ち時間	待ち時間無料	市外のみ 2時間までは無料 2時間を超えた時は 30分ごとに4点加算

行政からの受託事業 盛り上がった センター・ 公民館祭り

流山市より業務委託を受けています市民活動推進センターのセントラルパークフェスタ二〇一五が六月七日に開催されました。当日、約四千五百人の来場者がありました。が、当会も焼きそばの売店を出店し、お昼を待たず、完売となりました。五月三十日、三十一日は南流山センター、九月十二日、十三日は初石公民館と、当会が指定管理者として受託しています両公民館の公民館祭りが盛大に開催されました。公民館を利用されている市民団体、各サークルの成果発表の場として大変喜ばれています。公民館祭りに当会とし



初石公民館 焼きそば



セントラルパークフェスタ、餅つき



南流山センター 相撲部屋直伝のちゃんこ鍋

て来場者のお腹を満たすべく、焼きそば、綿菓子、の売店を出店いたしました。安くておいしいとの評判をいただき、午前中に売切れ完売となりましたが、お祭りの盛り上げに一役、買いました。

去る九月二〇日(日)、ふれあいの家「えがお」で認知症について「知っておきたいQ&A」と題して、勉強会を開催しました。

当日は、向小金クリニック院長の「認知症」についての講演と認知症の方の面倒をみている家族の方、二名による体験談をもとに熱心な質疑応答が行われました。

認知症は、避けて通れない病気であり、現代の医学では「癌(ガン)」よりも

治療方法が確立されていない厄介な病気の一つです。認知症を正しく理解することが大切であると同時に、周りの人が、それぞれの立場で出来ることで、患者さん、家族の方を支えて行く社会づくりが必要であることと実感させられた勉強会でした。

今後、継続して勉強会を計画すると同時に、患者さん、家族の方が何時でも憩える場所として「えがお」を提供していくつもりです。

正しい理解と 周りの思いやりが大事！



認知症・勉強会開催！

韓国から、連日、高齢化問題の番組取材、 韓国大使館と国会議員の視察がありました。



右から2人目 韓国・国会議員 Kim,Hyun Mee 氏、右端 韓国大使館 崔参事官

七月二十八日、朝鮮日報の高齢化問題の番組取材、二十九日は、韓国大使館から国会議員の方の視察要請があり、連日、韓国からの訪問客をお迎えしました。

韓国は日本以上のスピードで高齢化が進んでおり、高齢者福祉の法整備やNPOをはじめとするボランティア活動の団体、グループの組織化が急がれているようで大変、熱心に視察、取材されました。

朝鮮日報の取材は、高齢化問題の解決のヒントを求めて、日本の高齢者に対するボラン



庭の剪定作業中のインタビュー



病院への送迎・院内介助を撮影

ティア活動の状況を韓国国内に紹介する目的で、前日の「さわやか福祉財団」堀田会長のインタビューから始まり、当会の生活支援活動の様子(車による病院への送迎、庭の剪定「えがお」の催し物の様子など)を一日かけて撮影、インタビューを受けました。

番組は、今回の取材を三回(四回のシリーズにして放送するとのこと)です。

また、日本国内においては今回の介護保険改正に伴う、高齢者福祉の新たな取り組み、活動について、流山市は、他

事務所からのお知らせ

- ★ 年末の大掃除のご依頼は、お早めに！
- ★ 年末年始の事務所は、12/29~1/3まで、お休みです。
- ☆ 提供会員の皆さまへ
活動のチケット清算は、3カ月以内で、お願いします。

の自治体より市民活動、地域活動が先行していると言われるっており、各方面・各団体から問い合わせや、視察などが増えてきました。

■ 市民協主催
「2015ケアフェス」
片岡代表がパネラーとして活動を報告！

九月二七日(日)上智大学で市民協主催の2015ケアフェスが開催され、片岡代表がパネルディスカッションのパネラーとして当会の活動報告と流山市の改正介護保険・総合事業の取り組みについて報告しました。当日は約八〇〇人の参加者がありました。当会が毎年、百人を超える会員が増えていること、一〇年間の積立金と市民、会員の寄付により事務所兼老人福祉施設を建設した活動を多くの参加者から高く評価されました。